

3. 県が注力している取組について

「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでおききました。

問番号	質問文の概要	課題
問 3	「南海トラフ地震臨時情報」についてどの程度知っているか	災害について
問 3-2	「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか	
問 3-3	「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか	
問 9	ジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて今後どのようなことを進めていくべきと思うか	ジェンダーギャップの解消について
問 10	三重県で働く方を増やすために「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか	人材確保について
問 11	日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思うか	共生社会について
問 12	県内各地で観光客が増えたと、どのような効果や影響があると思うか	観光について
問 13	行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか	デジタルの活用について
問 13-2	デジタルサービスを利用したことがない理由	
問 14-①	出かける際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】	公共交通について
問 14-②	出かける際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】	
問 15	タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを利用したいと思うか	公共ライドシェアについて

※「結婚について」、「子ども・子育て支援について」の集計結果は 67 ページから 81 ページに記載

➤ 県が注力している取組に関すること（項目ごとの集計結果）

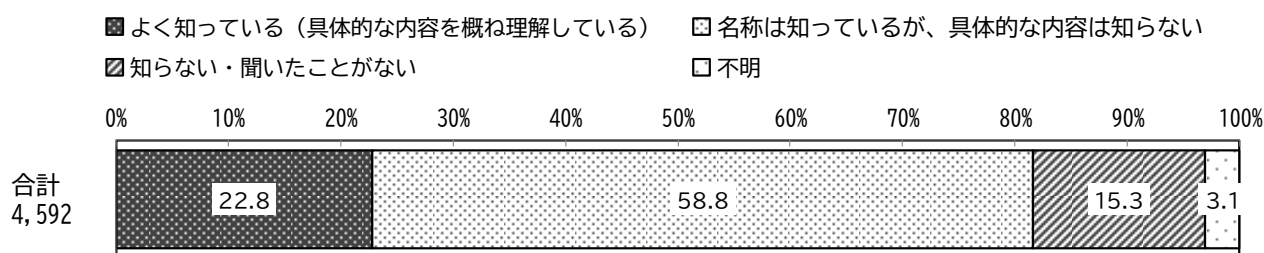
3.1 災害について

問3 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では令和元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報*」の運用を開始しており、今年8月8日に、運用を開始してから初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。あなたはこの情報について、どの程度知っていますか。

*南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報

- 「南海トラフ地震臨時情報」についてどの程度知っているかについて質問したところ、「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」が58.8%で最も高く、次いで「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」（22.8%）、「知らない・聞いたことがない」（15.3%）となっています。

図表 2-3-1 「南海トラフ地震臨時情報」の認知度



※本質問の回答割合（%）は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」の割合が最も高くなっています。男性では「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」の割合（26.8%）が女性と比較して高くなっています。

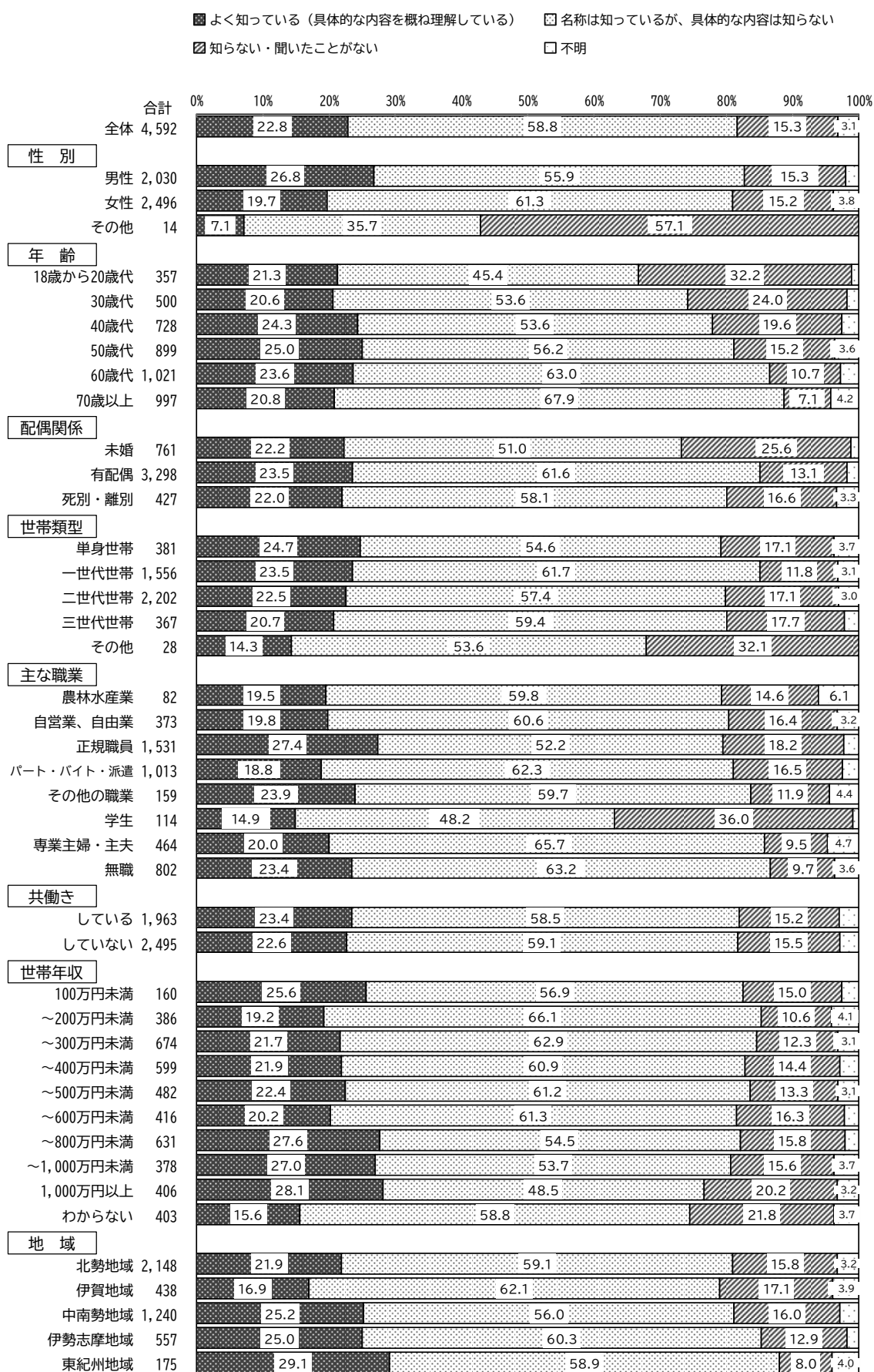
【年代別】

- すべての年代で「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」の割合が最も高くなっています。年代が高いほど「知らない・聞いたことがない」の割合が低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」の割合が最も高くなっています。中南勢地域、伊勢志摩地域、東紀州地域では「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」の割合が2割半ばを超え、県全体よりも高くなっています。

図表 2-3-2 「南海トラフ地震臨時情報」の認知度（属性別）

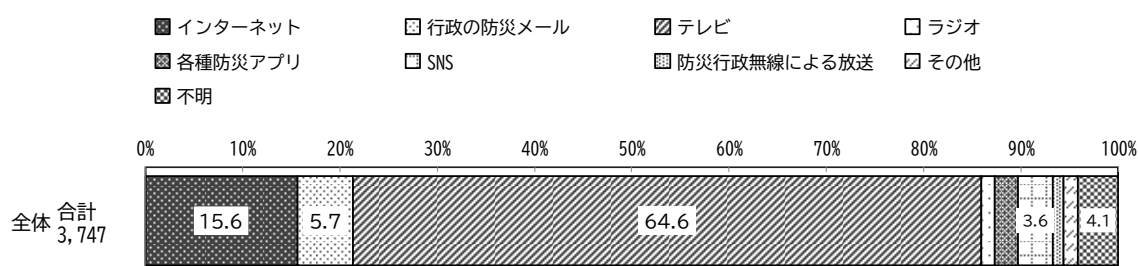


※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問 3-2 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知りましたか。

- 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったかについて質問したところ、「テレビ」が64.6%で最も高く、次いで「インターネット」（15.6%）、「行政の防災メール」（5.7%）となっています。

図表 2-3-3 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか



※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「テレビ」の割合が最も高くなっています。男性では「インターネット」の割合（20.2%）が女性と比較して高くなっています。

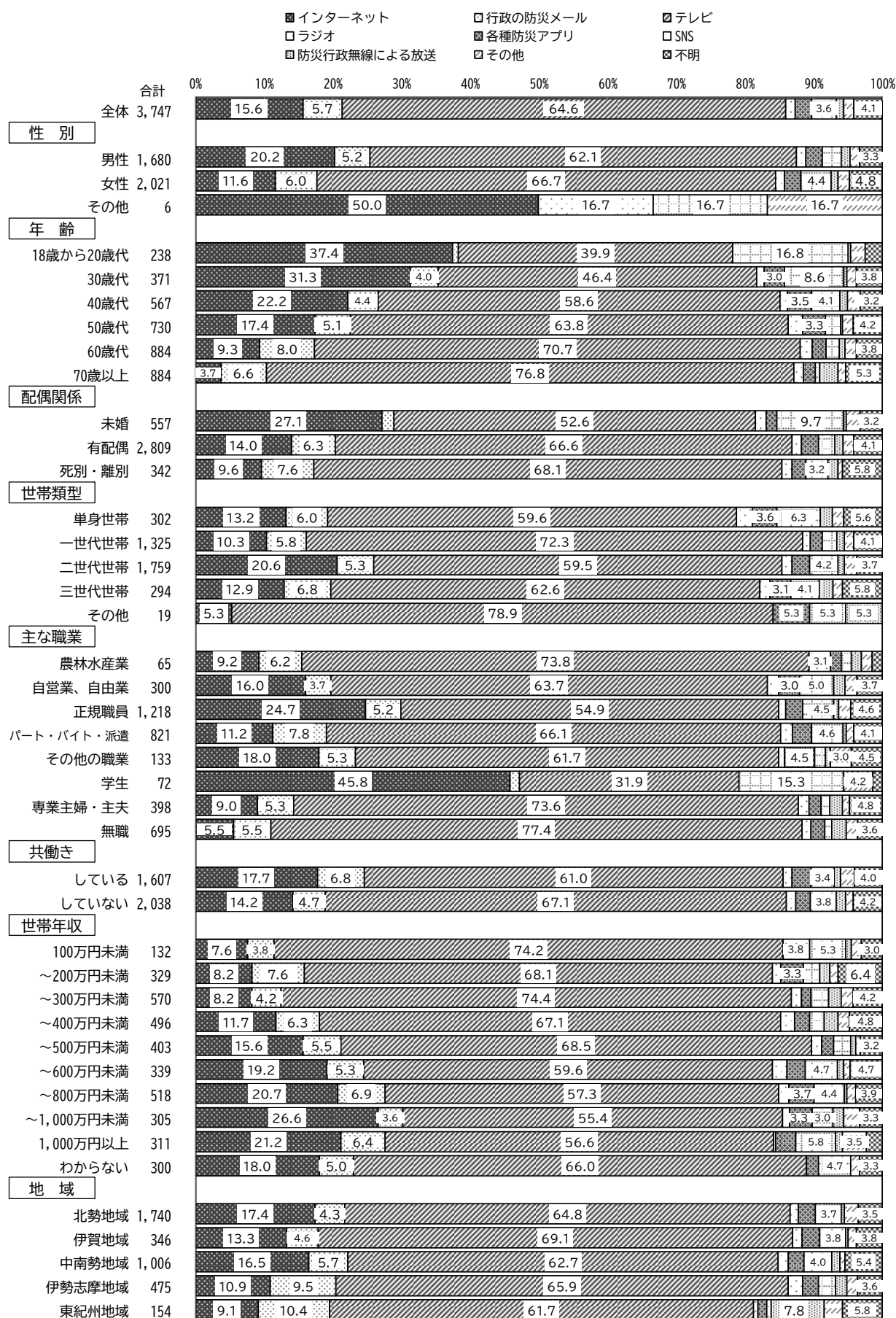
【年代別】

- すべての年代で「テレビ」の割合が最も高くなっています。年代が低いほど「インターネット」の割合が高く、30歳代以下では3割を超えています。

【地域別】

- すべての地域で「テレビ」の割合が最も高くなっています。「インターネット」と「行政の防災メール」の回答割合を比較した場合、北勢地域、伊賀地域、中南勢地域では「インターネット」の割合が1割を超え、伊勢志摩地域、東紀州地域では「インターネット」と「行政の防災メール」の割合がともに1割前後で同程度となっています。

図表 2-3-4 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか（属性別）



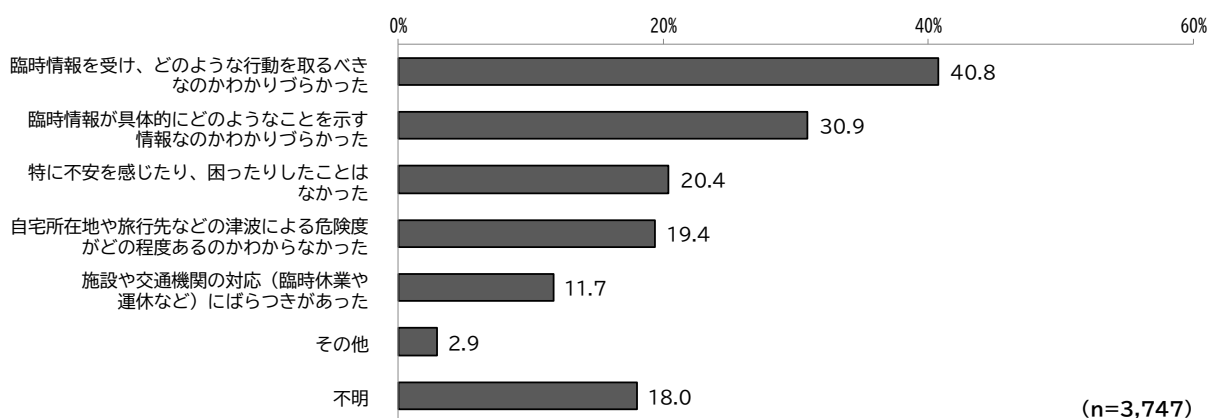
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問 3-3 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはありませんか。次の中から、あてはまるものを選んでください。

（○はいくつでも）

○ 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことがあったかについて質問したところ、「臨時情報を受け、どのような行動を取るべきなのかわかりづらかった」が40.8%で最も高く、次いで「臨時情報が具体的にどのようなことを示す情報なのかわかりづらかった」（30.9%）、「自宅所在地や旅行先などの津波による危険度がどの程度あるのかわからなかった」（19.4%）となっています。なお、「特に不安を感じたり、困ったりしたことはなかった」が20.4%となっています。

図表 2-3-5 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか



※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-6 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）							
		合計	特に不安を感じたり、困ったりしたことはなかった	臨時情報が具体的にどのようなことを示す情報なのかわかりづらかった	臨時情報を受け、どのような行動を取るべきなのかわかりづらかった	自宅所在地や旅行先などの津波による危険度がどの程度あるのかわからなかった	施設や交通機関の対応（臨時休業や運休など）にばらつきがあった	その他	不明
全体		3,747	20.4	30.9	40.8	19.4	11.7	2.9	18.0
性別	男性	1,680	25.0	32.0	37.2	18.3	12.1	2.7	14.9
	女性	2,021	16.5	29.7	44.3	20.4	11.4	3.1	20.4
	その他	6	66.7	16.7	-	33.3	-	-	-
年齢	18歳から20歳代	238	22.3	30.3	35.7	23.1	14.3	2.5	9.2
	30歳代	371	19.7	29.4	43.9	19.7	13.2	2.7	12.9
	40歳代	567	19.6	27.0	44.4	18.2	10.8	4.1	13.4
	50歳代	730	16.7	32.7	41.6	18.6	10.7	3.8	17.4
	60歳代	884	19.9	33.7	45.0	19.8	14.6	2.1	19.0
	70歳以上	884	24.9	28.6	34.2	19.8	8.9	2.4	24.1
配偶関係	未婚	557	25.3	30.7	39.1	19.4	13.8	2.5	12.6
	有配偶	2,809	19.3	31.2	41.5	19.4	11.5	2.7	18.4
	死別・離別	342	27.6	28.9	37.7	19.3	9.9	5.6	27.6
世帯類型	単身世帯	302	26.5	28.1	38.7	20.2	10.9	4.6	17.2
	一世代世帯	1,325	20.6	29.1	37.1	19.4	11.7	3.0	22.0
	二世代世帯	1,759	19.4	32.7	43.6	19.5	11.9	2.6	15.0
	三世代世帯	294	20.7	29.3	46.3	18.7	11.9	2.7	15.6
	その他	19	15.8	26.3	26.3	21.1	10.5	-	36.8
主な職業	農林水産業	65	21.5	35.4	43.1	26.2	12.3	-	18.5
	自営業、自由業	300	20.3	33.0	35.0	17.3	9.3	3.7	18.7
	正規職員	1,218	19.8	32.3	43.2	17.6	13.5	3.2	13.1
	パート・バイト・派遣	821	17.8	30.3	45.2	27.9	12.3	3.5	17.2
	その他の職業	133	14.3	27.8	44.4	25.6	12.0	1.5	20.3
	学生	72	26.4	30.6	40.3	22.2	12.5	-	6.9
	専業主婦・主夫	398	19.3	29.1	41.0	20.6	10.6	2.8	24.9
	無職	695	25.8	28.5	34.2	18.3	9.4	2.2	23.5
共働き	している	1,607	17.1	32.7	44.5	19.9	12.5	3.0	15.1
	していない	2,038	22.9	29.2	38.5	19.2	11.3	2.7	20.0
世帯年収	100万円未満	132	27.2	27.3	38.6	20.5	12.9	3.8	27.2
	～200万円未満	329	21.9	32.2	35.6	22.8	8.2	3.3	23.4
	～300万円未満	570	21.4	27.4	37.5	20.0	11.1	2.6	24.4
	～400万円未満	496	27.6	32.7	37.3	16.9	10.3	2.4	18.8
	～500万円未満	403	20.1	31.5	42.2	27.3	12.2	3.5	14.6
	～600万円未満	339	16.2	37.2	44.5	19.2	12.1	5.3	14.7
	～800万円未満	518	27.4	27.2	43.8	15.8	11.8	2.3	14.7
	～1,000万円未満	305	17.0	32.5	44.6	19.7	12.5	2.0	15.7
	1,000万円以上	311	22.5	29.6	44.4	13.8	14.8	2.9	14.5
	わからない	300	19.3	32.3	41.7	25.7	12.0	2.3	15.3
地域	北勢地域	1,740	20.5	32.2	40.3	19.9	11.1	3.6	16.9
	伊賀地域	346	20.8	28.6	39.0	19.4	8.7	1.7	27.7
	中南勢地域	1,006	19.2	29.6	42.7	18.6	12.3	2.8	17.7
	伊勢志摩地域	475	20.0	32.0	42.5	19.4	13.9	1.9	17.7
	東紀州地域	154	27.9	24.7	33.1	19.5	13.6	3.2	22.1

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

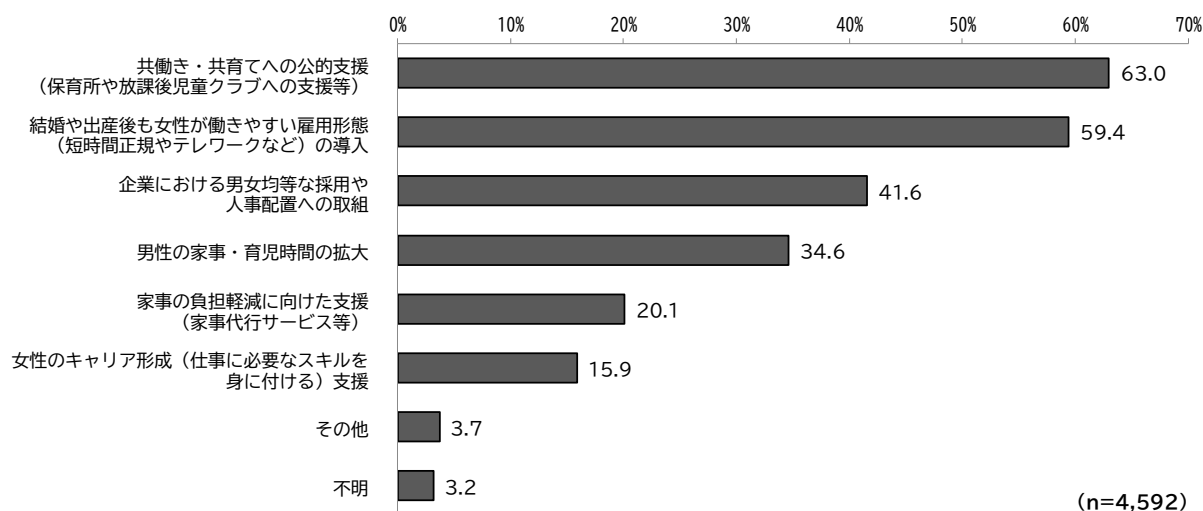
3.2 ジェンダーギャップの解消について

問 9 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、あなたは、今後どのようなことを進めていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

（○は3つまで）

- 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきかについて質問したところ、「共働き・共育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）」の割合が 63.0%で最も高く、次いで「結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなど）の導入」（59.4%）、「企業における男女均等な採用や人事配置への取組」（41.6%）となっています。

図表 2-3-7 ジェンダーギャップの解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきか



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-8 ジェンダーギャップの解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきか（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）										
		合計	企業における男女均等な採用や人事配置への取組	結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなどの導入	男性の家事・育児時間の拡大	女性のキャリア形成（仕事に必要なスキルを身に付ける）支援	共働き・子育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）	家事の負担軽減に向けた支援（家事代行サービス等）	その他	不明
全体		4,592	41.6	59.4	34.6	15.9	63.0	20.1	3.7	3.2
性別	男性	2,030	46.7	53.3	32.1	16.7	61.3	19.0	4.6	2.5
	女性	2,496	37.7	64.5	36.8	15.1	64.9	21.0	2.9	3.6
	その他	14	42.9	35.7	35.7	14.3	50.0	35.7	28.6	
年齢	18歳から20歳代	357	37.3	56.6	42.9	17.4	61.1	21.0	5.0	0.8
	30歳代	500	31.0	59.2	43.0	14.8	69.0	26.6	4.6	0.6
	40歳代	728	35.2	58.0	40.8	14.7	63.7	25.5	5.2	1.5
	50歳代	899	41.4	54.8	37.6	15.8	59.4	22.6	3.7	1.2
	60歳代	1,021	49.5	65.9	31.0	15.5	67.2	18.2	2.3	2.2
	70歳以上	997	45.0	59.7	24.4	17.0	60.9	12.7	3.4	8.8
配偶関係	未婚	761	41.7	52.4	36.1	18.9	56.0	22.7	5.0	2.2
	有配偶	3,298	41.9	62.0	35.1	15.1	65.8	19.7	3.4	2.5
	死別・離別	427	39.6	53.6	28.3	17.8	57.4	19.2	4.0	8.0
世帯類型	単身世帯	381	42.8	51.7	32.8	19.7	52.5	19.4	3.7	6.0
	一世代世帯	1,556	46.2	61.6	32.6	15.7	63.3	16.6	3.2	3.4
	二世帯世帯	2,202	37.7	58.9	37.1	15.4	64.8	23.0	3.8	2.5
	三世帯世帯	367	43.9	63.2	31.1	14.4	66.5	18.5	5.2	2.2
	その他	28	57.1	53.6	28.6	17.9	53.6	17.9	10.7	7.1
主な職業	農林水産業	82	42.7	64.6	25.6	9.8	70.7	11.0	1.2	4.9
	自営業、自由業	373	36.7	52.3	30.6	18.2	56.8	25.7	5.6	3.2
	正規職員	1,531	40.2	54.5	39.2	17.0	64.2	23.6	4.0	1.0
	パート・バイト・派遣	1,013	42.6	64.4	37.5	14.7	65.6	19.6	2.5	2.1
	その他の職業	159	44.7	61.6	36.5	17.6	64.2	15.1	4.4	2.5
	学生	114	35.1	60.5	47.4	16.7	58.8	21.9	5.3	0.9
	専業主婦・主夫	464	39.9	69.2	31.5	12.3	62.7	19.0	3.2	5.2
	無職	802	46.9	59.7	25.1	16.1	61.5	14.1	4.1	7.4
共働き	している	1,963	38.8	59.9	39.7	15.3	66.9	21.5	3.6	1.5
	していない	2,495	44.3	59.8	30.8	16.5	60.9	19.2	3.9	3.7
世帯年収	100万円未満	160	41.9	50.0	35.6	17.5	50.0	15.6	3.8	9.4
	～200万円未満	386	42.5	54.7	29.3	15.5	53.9	19.9	5.2	8.0
	～300万円未満	674	47.5	62.9	30.1	17.2	60.8	15.9	3.4	4.2
	～400万円未満	599	45.4	62.1	30.2	16.0	65.4	17.2	3.2	3.7
	～500万円未満	482	42.1	60.2	33.4	16.0	67.6	20.5	2.3	1.5
	～600万円未満	416	42.3	61.3	37.3	13.7	61.3	22.8	4.3	1.9
	～800万円未満	631	37.7	59.0	40.7	15.2	66.9	23.9	3.2	1.0
	～1,000万円未満	378	39.2	58.5	35.7	17.2	67.5	22.0	5.6	0.5
	1,000万円以上	406	34.5	57.6	41.6	18.5	66.3	23.6	3.9	0.7
	わからない	403	41.2	60.8	36.0	13.4	62.0	18.9	4.0	3.5
地域	北勢地域	2,148	41.5	59.6	34.2	16.1	63.5	20.1	3.5	2.7
	伊賀地域	438	44.5	58.4	37.0	17.8	60.0	19.9	3.4	4.3
	中南勢地域	1,240	41.1	60.0	36.4	15.8	64.2	21.8	4.2	1.9
	伊勢志摩地域	557	40.8	59.6	31.2	15.8	64.5	18.7	4.5	5.0
	東紀州地域	175	42.9	57.1	32.0	12.6	56.0	13.7	2.9	8.6

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

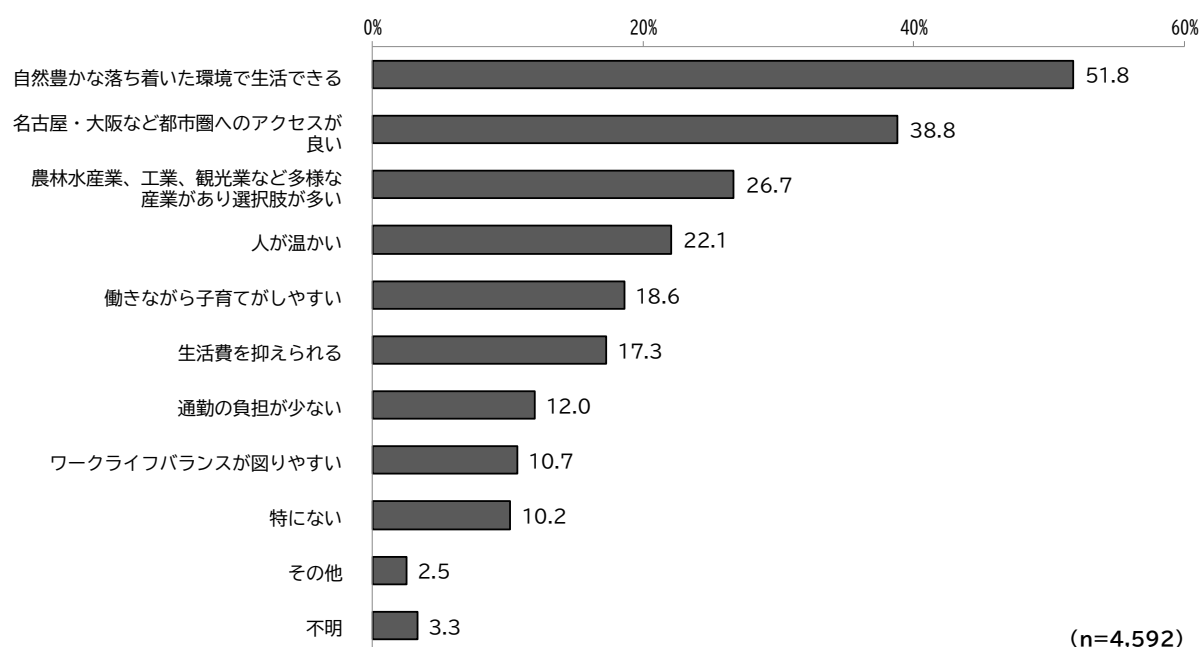
3.3 人材確保について

問10 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

- 三重県で働く方を増やすために、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うかについて質問したところ、「自然豊かな落ち着いた環境で生活できる」が51.8%で最も高く、次いで「名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い」(38.8%)、「農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い」(26.7%)となっています。

図表 2-3-9 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-10 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	自然豊かな 落ち着いた 環境で生活 できる	名古屋・大 阪など都市 圏へのアク セスが良い	農林水産 業、工業、 観光業など 多様な産業 があり選択 肢が多い	ワークライ フバランス が図りやす い	人が温かい	働きながら 子育てがし やすい	生活費を抑 えられる	通勤の負担 が少ない	特にない	その他	不明
全体		4,592	51.8	38.8	26.7	10.7	22.1	18.6	17.3	12.0	10.2	2.5	3.3
性別	男性	2,030	51.3	40.2	29.8	12.7	21.8	18.6	19.2	13.0	9.4	3.3	2.9
	女性	2,496	52.6	37.5	24.2	9.1	22.4	18.7	16.0	11.1	10.7	1.6	3.4
	その他	14	27.4	50.0	7.1	7.1	7.1	14.3	28.6	27.4	27.4	27.4	-
年齢	18歳から20歳代	357	45.4	47.6	20.7	13.2	19.3	12.3	20.2	10.1	12.9	2.8	1.7
	30歳代	500	41.8	42.6	21.8	12.8	18.0	17.2	21.2	10.2	12.4	3.0	2.0
	40歳代	728	47.3	36.3	22.1	15.4	20.5	18.1	20.2	12.0	12.6	3.6	1.9
	50歳代	899	50.9	38.7	26.0	10.2	19.4	17.0	15.8	11.0	12.0	2.0	2.6
	60歳代	1,021	58.6	38.0	30.7	11.4	23.6	21.4	17.2	12.9	7.7	2.1	2.7
	70歳以上	997	56.6	36.7	31.5	5.3	27.8	20.6	14.3	13.6	7.0	1.9	6.1
配偶関係	未婚	761	46.9	42.4	22.7	12.9	20.4	12.2	20.4	12.0	12.4	2.8	2.5
	有配偶	3,298	53.3	38.1	27.5	10.4	22.3	20.3	17.3	11.9	9.6	2.4	2.9
	死別・離別	427	48.7	37.7	26.2	9.4	22.7	16.6	12.2	12.9	11.7	2.8	6.6
世帯類型	単身世帯	381	48.8	38.1	24.9	10.8	21.0	14.4	17.6	11.3	10.8	2.1	5.8
	一世代世帯	1,556	54.2	38.8	27.6	8.8	23.0	20.2	17.5	12.6	8.5	2.8	3.5
	二世代世帯	2,202	50.8	39.3	25.8	12.0	21.1	18.1	17.9	12.1	11.3	2.1	2.5
	三世代世帯	367	53.4	36.8	29.2	10.9	25.9	20.2	13.6	9.5	10.4	1.9	2.5
	その他	28	39.3	25.0	25.0	14.3	21.4	17.9	21.4	14.3	7.1	14.3	10.7
主な職業	農林水産業	82	62.2	34.1	50.0	8.5	20.7	13.4	14.6	4.9	12.2	1.2	3.7
	自営業、自由業	373	51.2	36.7	24.1	8.6	24.1	19.3	15.3	11.8	11.8	4.6	3.5
	正規職員	1,531	50.4	42.3	25.5	14.6	19.3	18.4	20.0	11.2	9.6	2.6	1.7
	パート・バイト・派遣	1,013	49.8	37.3	26.2	9.7	22.1	17.0	15.7	13.4	12.0	0.9	3.2
	その他の職業	159	54.7	35.2	23.9	15.1	23.3	18.9	19.5	12.6	10.1	4.4	3.8
	学生	114	45.6	43.9	19.3	16.7	23.7	14.9	25.4	11.4	8.8	2.6	0.9
	専業主婦・主夫	464	56.0	35.8	26.7	6.7	22.0	21.8	16.4	9.5	9.1	1.7	3.9
	無職	802	54.6	36.9	29.9	6.5	26.4	20.0	15.1	13.8	8.9	3.1	5.4
共働き	している	1,963	51.8	38.7	25.4	12.3	21.2	19.2	18.0	11.8	10.7	2.5	1.9
	していない	2,495	52.3	39.0	27.9	9.5	22.8	18.4	17.2	12.0	9.7	2.4	3.7
世帯年収	100万円未満	160	53.1	36.3	28.1	1.9	25.0	15.6	14.4	10.0	10.0	3.1	9.4
	～200万円未満	386	53.1	30.1	22.0	8.8	23.8	21.5	17.4	13.0	11.9	2.3	6.5
	～300万円未満	674	54.0	37.2	29.7	8.2	27.4	16.9	14.1	14.5	9.2	2.4	4.2
	～400万円未満	599	55.1	40.2	31.6	9.7	24.4	19.4	14.4	12.5	7.8	2.5	2.8
	～500万円未満	482	51.7	37.6	29.0	11.6	18.7	20.1	19.3	12.0	10.4	3.1	2.5
	～600万円未満	416	52.6	39.2	26.4	10.8	21.2	18.8	16.1	11.5	7.9	2.4	3.6
	～800万円未満	631	51.0	40.7	24.7	11.4	20.3	19.3	18.2	10.5	11.9	2.5	1.4
	～1,000万円未満	378	52.1	43.4	27.0	14.0	20.4	18.5	24.1	10.8	8.2	2.9	1.3
	1,000万円以上	406	47.5	45.1	26.8	16.7	19.5	20.0	24.4	13.3	8.6	2.0	0.7
	わからない	403	45.2	38.5	20.6	10.2	19.6	15.1	13.2	9.2	17.4	2.0	2.7
地域	北勢地域	2,148	45.5	47.1	28.3	11.0	18.1	18.2	17.2	13.2	10.5	2.1	2.7
	伊賀地域	438	53.9	47.7	23.7	10.5	16.2	18.9	14.8	9.6	9.4	2.5	4.1
	中南勢地域	1,240	56.0	35.3	26.6	11.0	24.1	18.1	18.3	11.5	10.3	2.8	2.4
	伊勢志摩地域	557	60.0	16.9	25.7	9.3	33.2	19.7	17.4	9.5	10.2	2.3	5.2
	東紀州地域	175	68.0	11.4	19.4	9.1	36.6	24.6	19.4	12.0	7.4	4.6	5.7

※凡例： 第1位 第2位 第3位

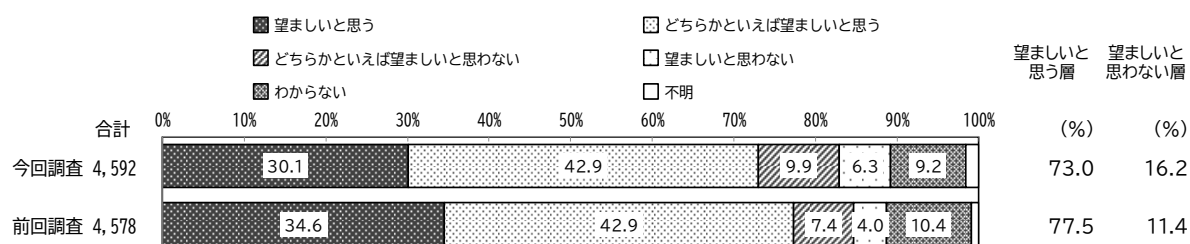
※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.4 共生社会について

問 11 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思いますか。

- 共生社会についてどう思うかについて質問したところ、「望ましいと思う層」の割合が 73.0% で、「望ましくないと思わない層」の割合（16.2%）より 56.8 ポイント高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「望ましいと思う層」が 4.5 ポイント減少し、「望ましくないと思わない層」が 4.8 ポイント増加しています。

図表 2-3-11 共生社会についてどう思うか



※「望ましいと思う層」の割合・・・「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「望ましくないと思わない層」の割合・・・「望ましいと思わない」と「どちらかといえば望ましくない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。

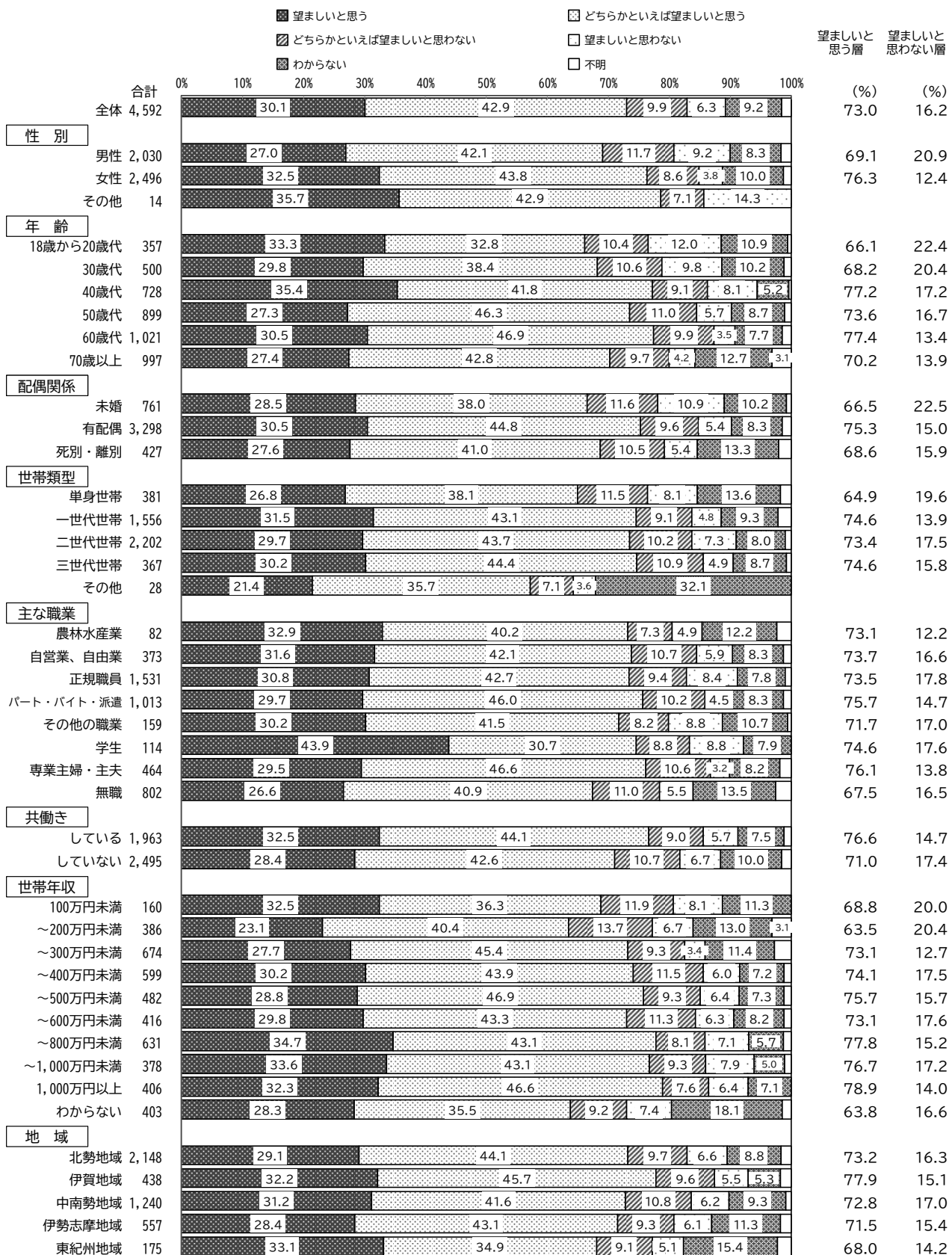
【年代別】

- すべての年代で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が高いのは 60 歳代（77.4%）、40 歳代（77.2%）で、最も低いのは 18 歳から 20 歳代（66.1%）となっています。

【地域別】

- すべての地域で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が最も高いのは伊賀地域（77.9%）で、最も低いのは東紀州地域（68.0%）となっています。

図表 2-3-12 共生社会についてどう思うか（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

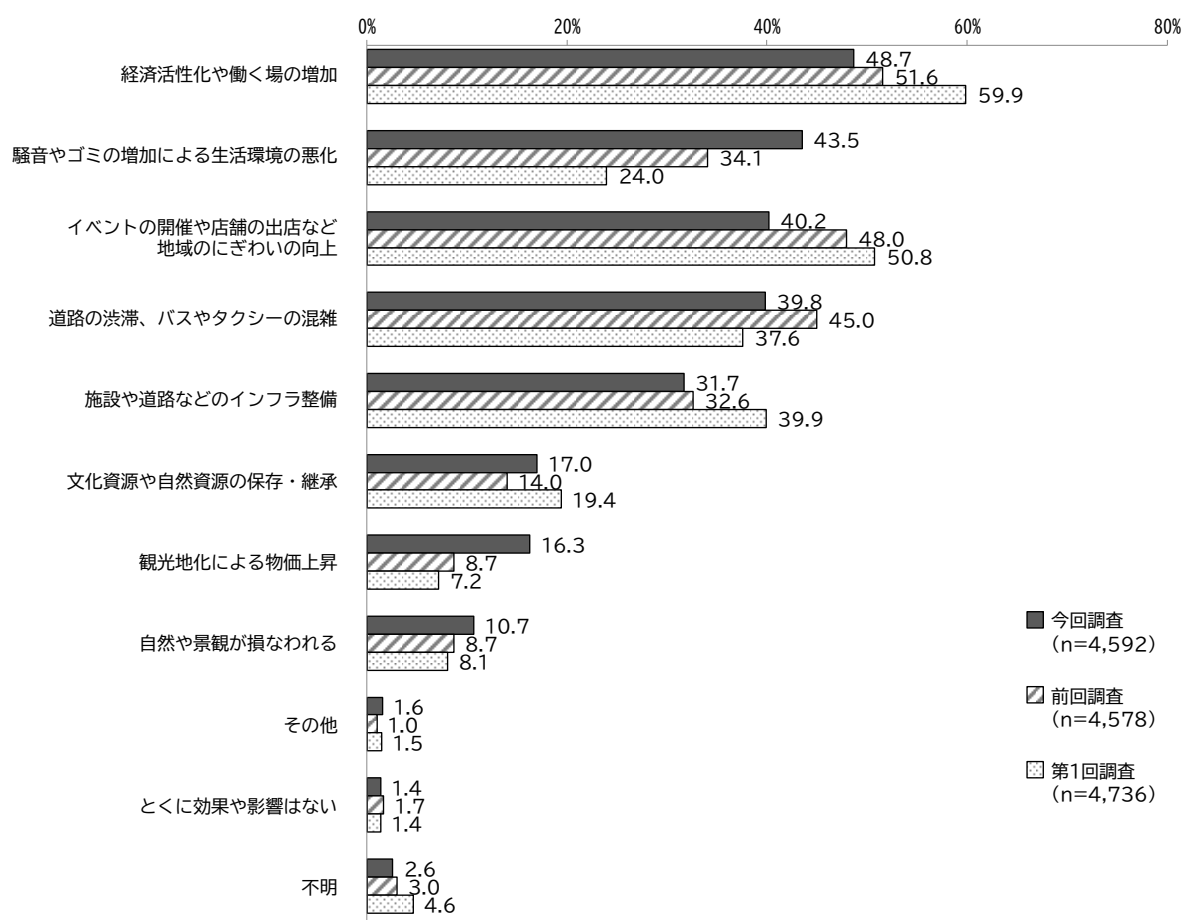
3.5 観光について

問 12 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が48.7%で最も高く、次いで「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(43.5%)、「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(40.2%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、主に「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(43.5%)、「観光地化による物価上昇」(16.3%)が増加し、「経済活性化や働く場の増加」(48.7%)、「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(40.2%)、「施設や道路などのインフラ整備」(31.7%)が減少しています。

図表 2-3-13 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-14 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上	経済活性化や働く場の増加	施設や道路などのインフラ整備	文化資源や自然資源の保存・継承	騒音やゴミの増加による生活環境の悪化	道路の渋滞、バスやタクシーの混雑	自然や景観が損なわれる	観光地化による物価上昇	とくに効果や影響はない	その他	不明
全体		4,592	40.2	48.7	31.7	17.0	43.5	39.8	10.7	16.3	1.4	1.6	2.6
性別	男性	2,030	40.7	45.5	34.6	17.7	46.3	39.6	12.3	16.1	1.5	2.2	2.4
	女性	2,496	39.9	51.4	29.4	16.3	41.4	40.2	9.6	16.5	1.2	1.0	2.6
	その他	14	35.7	42.9	64.3	14.3	50.0	35.7	7.1	7.1	-	7.1	-
年齢	18歳から20歳代	357	46.8	40.3	26.9	11.5	46.5	40.3	12.0	21.8	2.2	1.7	1.4
	30歳代	500	45.4	49.6	28.8	9.0	44.6	45.6	8.6	18.2	0.8	2.0	1.0
	40歳代	728	46.2	51.9	31.2	12.6	47.3	47.8	8.9	18.1	0.3	1.8	1.2
	50歳代	899	39.9	51.8	32.3	12.5	42.8	45.1	9.7	16.4	0.4	1.8	2.1
	60歳代	1,021	37.4	51.3	34.5	21.2	43.4	40.6	12.0	14.8	1.1	1.0	2.0
	70歳以上	997	35.7	43.6	32.0	25.8	40.5	26.2	12.3	13.5	3.2	1.6	5.5
配偶関係	未婚	761	40.6	41.3	28.4	12.1	48.8	40.9	13.7	20.0	1.4	2.6	2.0
	有配偶	3,298	40.9	50.3	32.6	18.2	42.8	40.6	9.9	15.6	1.3	1.2	2.2
	死別・離別	427	36.5	47.5	30.7	16.4	41.7	34.7	11.5	16.2	1.9	1.9	4.9
世帯類型	単身世帯	381	42.3	47.0	28.3	19.7	40.4	32.5	10.2	17.3	1.8	2.4	3.7
	一世代世帯	1,556	39.4	49.2	32.6	19.2	40.9	37.5	10.7	14.1	1.9	1.5	3.0
	二世代世帯	2,202	40.1	49.8	31.8	15.1	45.6	42.8	10.9	17.6	1.0	1.5	1.9
	三世代世帯	367	43.9	44.4	31.6	15.0	45.8	40.9	11.2	15.8	0.8	1.1	3.0
	その他	28	32.7	32.7	21.4	17.9	46.4	35.7	10.7	25.0	-	3.6	7.1
主な職業	農林水産業	82	36.6	50.0	30.5	19.5	35.4	31.7	8.5	9.8	6.1	1.2	4.9
	自営業、自由業	373	41.6	52.8	32.4	20.1	37.5	32.2	10.5	15.3	1.3	2.1	3.2
	正規職員	1,531	43.8	51.2	33.1	13.2	44.6	45.9	9.8	16.9	0.7	1.9	1.2
	パート・バイト・派遣	1,013	38.8	50.8	30.9	16.2	44.9	42.7	9.6	15.8	0.9	0.8	2.6
	その他の職業	159	40.3	47.2	35.8	13.2	43.4	37.1	8.8	20.1	0.6	2.5	2.5
	学生	114	50.9	43.0	28.9	11.4	45.6	36.0	9.6	23.7	1.8	1.8	0.9
	専業主婦・主夫	464	37.7	49.4	28.9	21.8	39.7	40.3	11.4	15.9	0.9	1.3	2.4
	無職	802	35.4	40.4	31.4	22.1	45.8	30.0	14.6	15.3	3.2	1.7	4.6
共働き	している	1,963	42.9	53.7	33.2	15.2	42.0	43.4	8.5	16.3	0.7	1.2	1.8
	していない	2,495	38.5	45.2	30.9	18.3	45.1	37.8	12.5	16.5	1.8	1.9	2.6
世帯年収	100万円未満	160	46.9	42.5	27.5	17.5	46.9	27.5	20.0	13.8	1.3	1.9	3.1
	～200万円未満	386	33.7	39.4	30.1	17.6	45.1	31.1	13.7	18.4	2.6	2.3	6.2
	～300万円未満	674	37.5	44.8	31.3	21.1	40.4	33.1	11.0	15.6	2.2	2.1	3.7
	～400万円未満	599	39.7	51.3	33.4	20.0	42.4	35.6	9.8	16.2	1.2	1.7	2.3
	～500万円未満	482	38.0	49.6	33.0	17.8	43.4	39.4	12.4	17.2	0.8	2.1	1.7
	～600万円未満	416	37.5	47.1	34.1	16.6	44.7	44.7	10.8	14.4	0.5	1.9	2.4
	～800万円未満	631	44.8	53.1	32.5	12.2	43.3	46.3	8.2	16.3	1.0	1.0	1.6
	～1,000万円未満	378	46.6	54.5	30.7	15.1	41.8	51.1	7.9	15.6	0.5	1.1	1.1
	1,000万円以上	406	44.1	60.3	37.7	17.2	39.2	43.8	7.4	15.5	0.7	0.5	0.5
	わからない	403	39.7	40.7	25.1	14.4	51.9	41.4	12.2	18.9	2.7	1.2	2.5
地域	北勢地域	2,148	37.3	46.9	30.9	16.5	45.5	44.0	11.0	16.8	1.4	1.5	2.5
	伊賀地域	438	41.8	48.4	34.5	22.8	40.2	34.2	11.2	17.1	0.9	0.9	2.7
	中南勢地域	1,240	43.7	49.6	31.6	16.6	44.6	37.4	10.6	14.5	1.0	1.9	1.9
	伊勢志摩地域	557	42.5	53.1	32.0	13.5	37.9	40.9	10.2	19.9	1.3	1.4	3.2
	東紀州地域	175	44.6	52.6	36.0	25.1	36.0	15.4	8.0	12.6	4.6	2.3	5.7

※凡例： 第1位 第2位 第3位

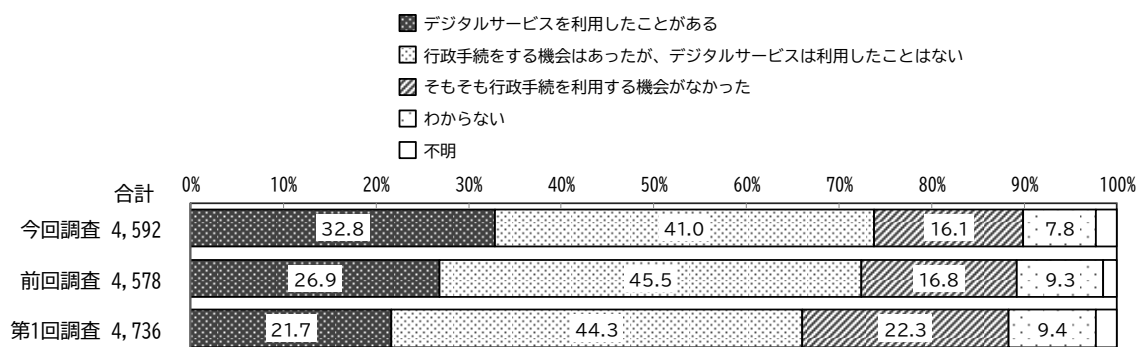
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.6 デジタルの活用について

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が41.0%で最も高く、次いで「デジタルサービスを利用したことがある」(32.8%)、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.1%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「デジタルサービスを利用したことがある」(32.8%)は第1回調査から増加傾向にあり、第2回調査からは5.9ポイント増加しています。「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」(41.0%)は第2回調査から4.5ポイント減少、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.1%)は0.7ポイント減少しています。

図表 2-3-15 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか



※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。男性では「デジタルサービスを利用したことはある」(38.0%)の割合が女性と比較して高くなっています。

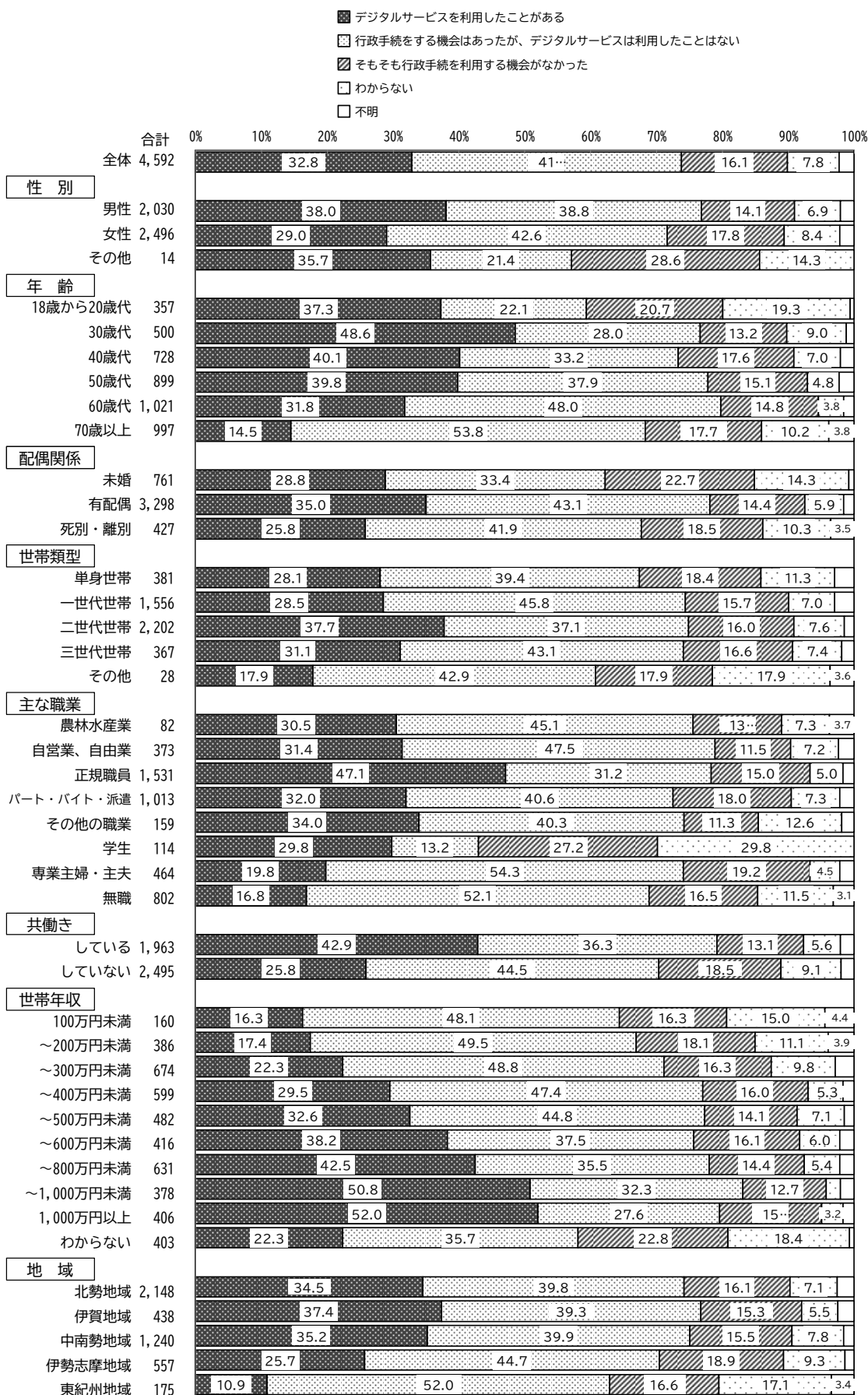
【年代別】

- 60歳代以上で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。それ以外の年代では「デジタルサービスを利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。特に、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高い地域は東紀州地域(52.0%)で、最も低い地域は伊賀地域(39.3%)となっています。

図表 2-3-16 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか（属性別）

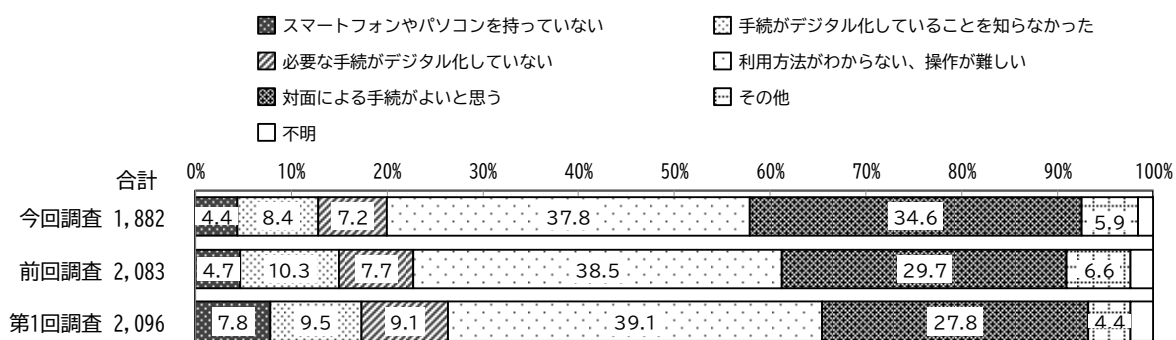


※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問 13-2 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

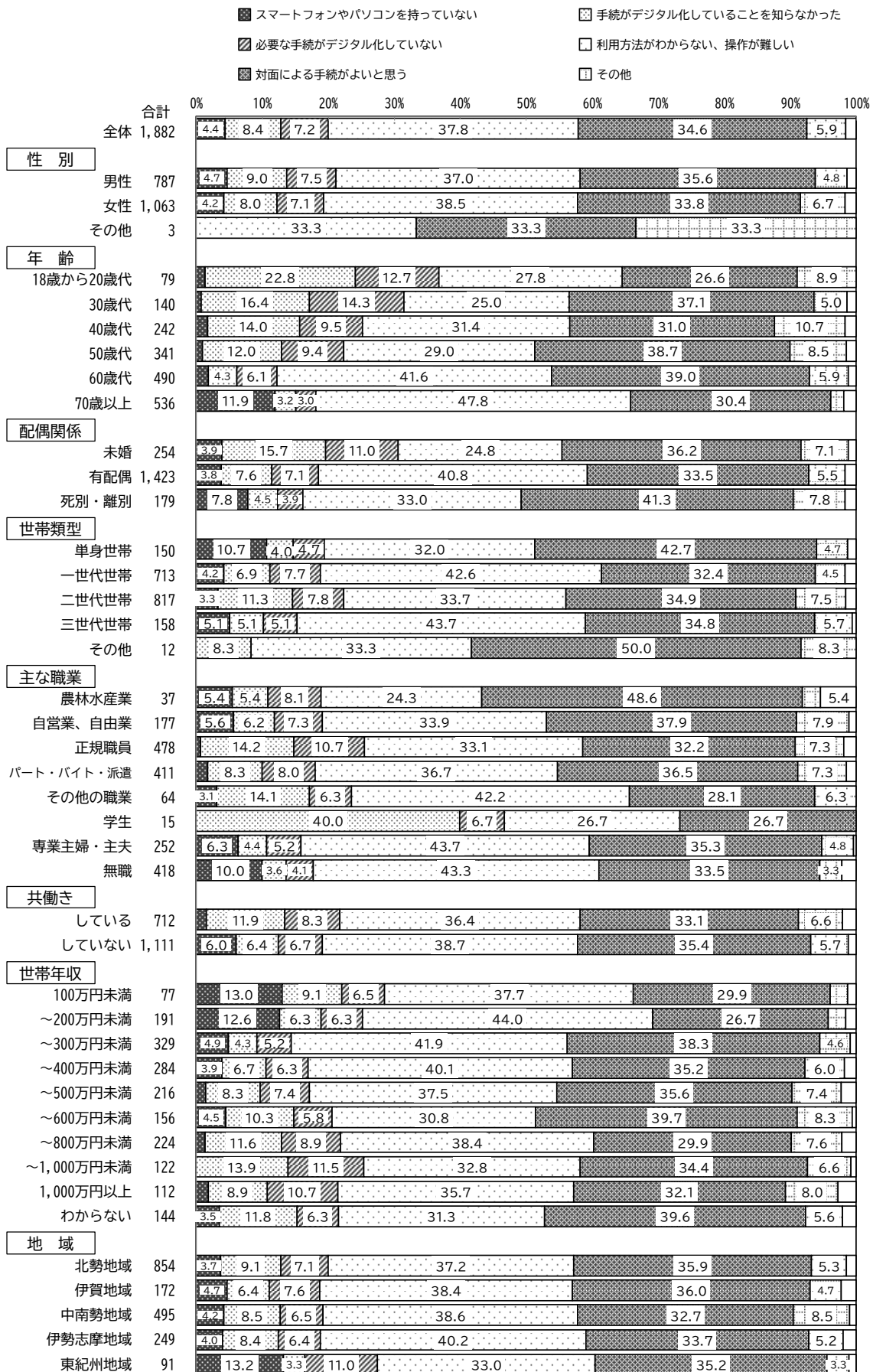
- 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」の割合が37.8%で最も高く、次いで「対面による手続きがよいと思う」(34.6%)、「手続きがデジタル化していることを知らなかった」(8.4%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「対面による手続きがよいと思う」(34.6%)は第1回調査より増加傾向にあり、第2回調査からは4.9ポイント増加しています。「利用方法がわからない、操作が難しい」(37.8%)は第1回調査より微減傾向にあります。

図表 2-3-17 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-18 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由（属性別）



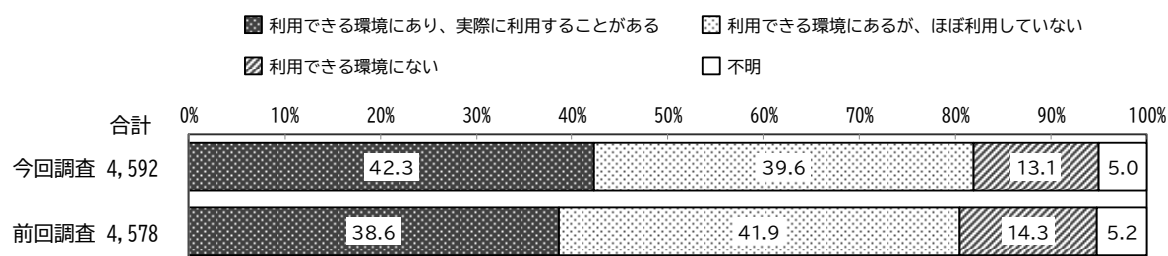
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.7 公共交通について

問 14 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

- お出かけの際に、鉄道を利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」が42.3%で最も高く、次いで「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(39.6%)、「利用できる環境にない」(13.1%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(42.3%)は3.7ポイント増加しています。「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(39.6%)は2.3ポイント減少しています。

図表 2-3-19 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合が最も高くなっています。男性では「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合(41.1%)が女性と比較して2.2ポイント高くなっています。

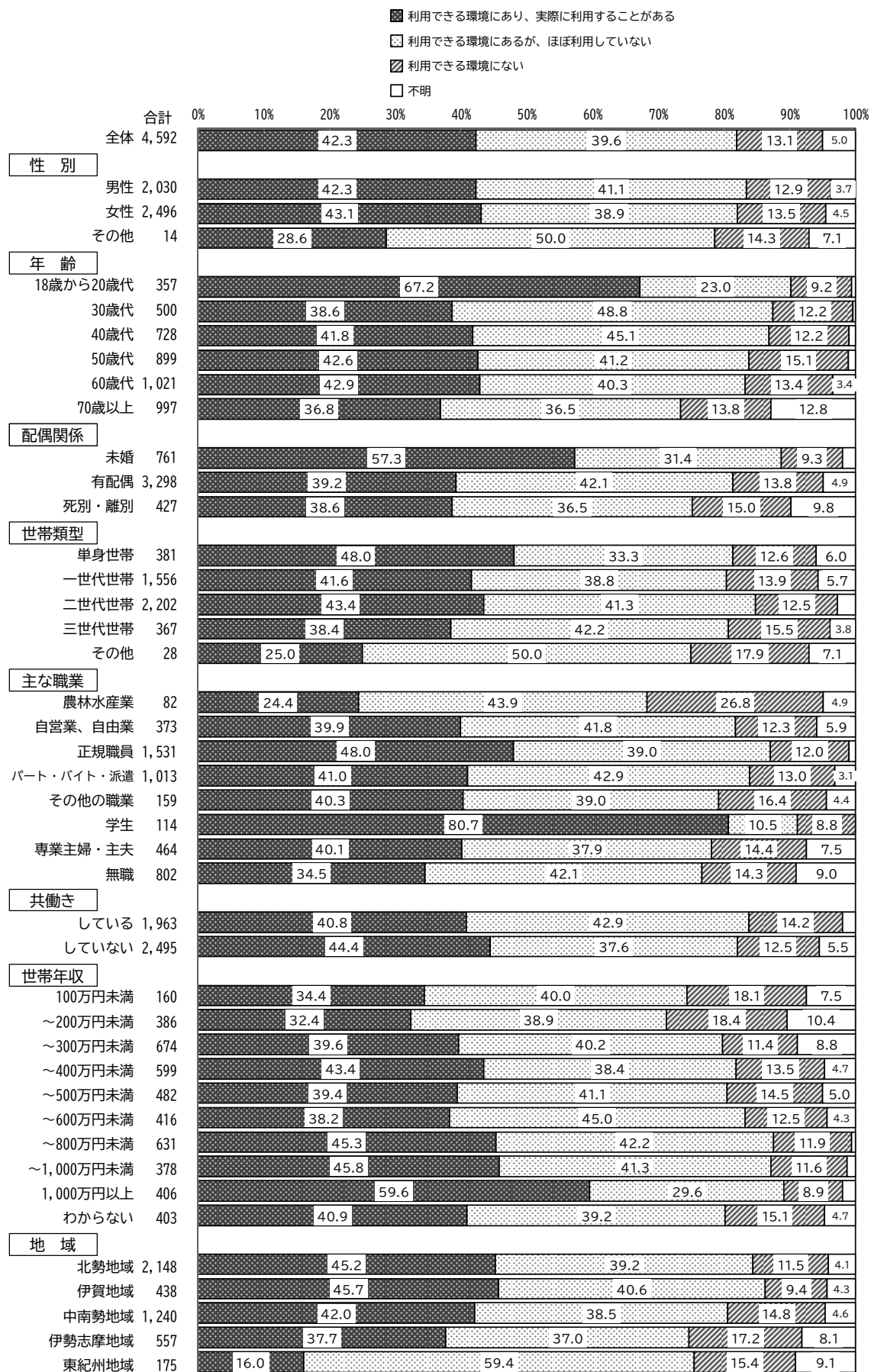
【年代別】

- 18歳から20歳代、および50歳代以上で「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合が最も高くなっています。30歳代、40歳代では「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- 「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合は伊賀地域(45.7%)が最も高く、東紀州地域(16.0%)が最も低くなっています。

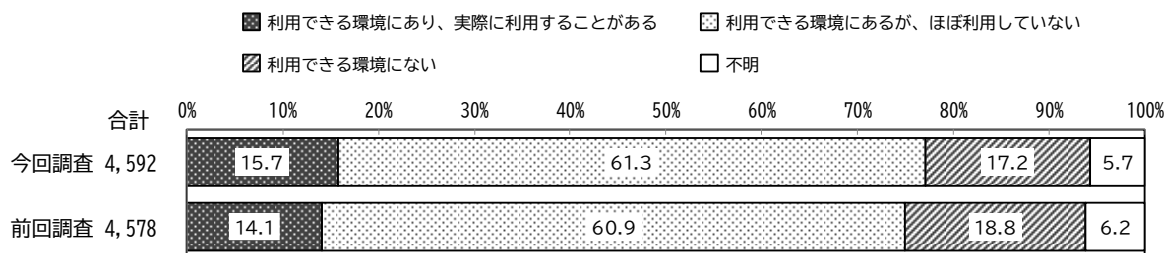
図表 2-3-20 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

- お出かけの際に、バスを利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」が61.3%で最も高く、次いで「利用できる環境にない」(17.2%)、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(15.7%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(61.3%)が引き続き最も高くなっています。「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(15.7%)は1.6ポイント増加、「利用できる環境にない」は1.6ポイント減少しています。

図表 2-3-21 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】



※本質問の回答割合(%)は、不明(未記入など)も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高く、次いで「利用できる環境にない」「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」となっており、3項目いずれも男女でほとんど差はみられません。

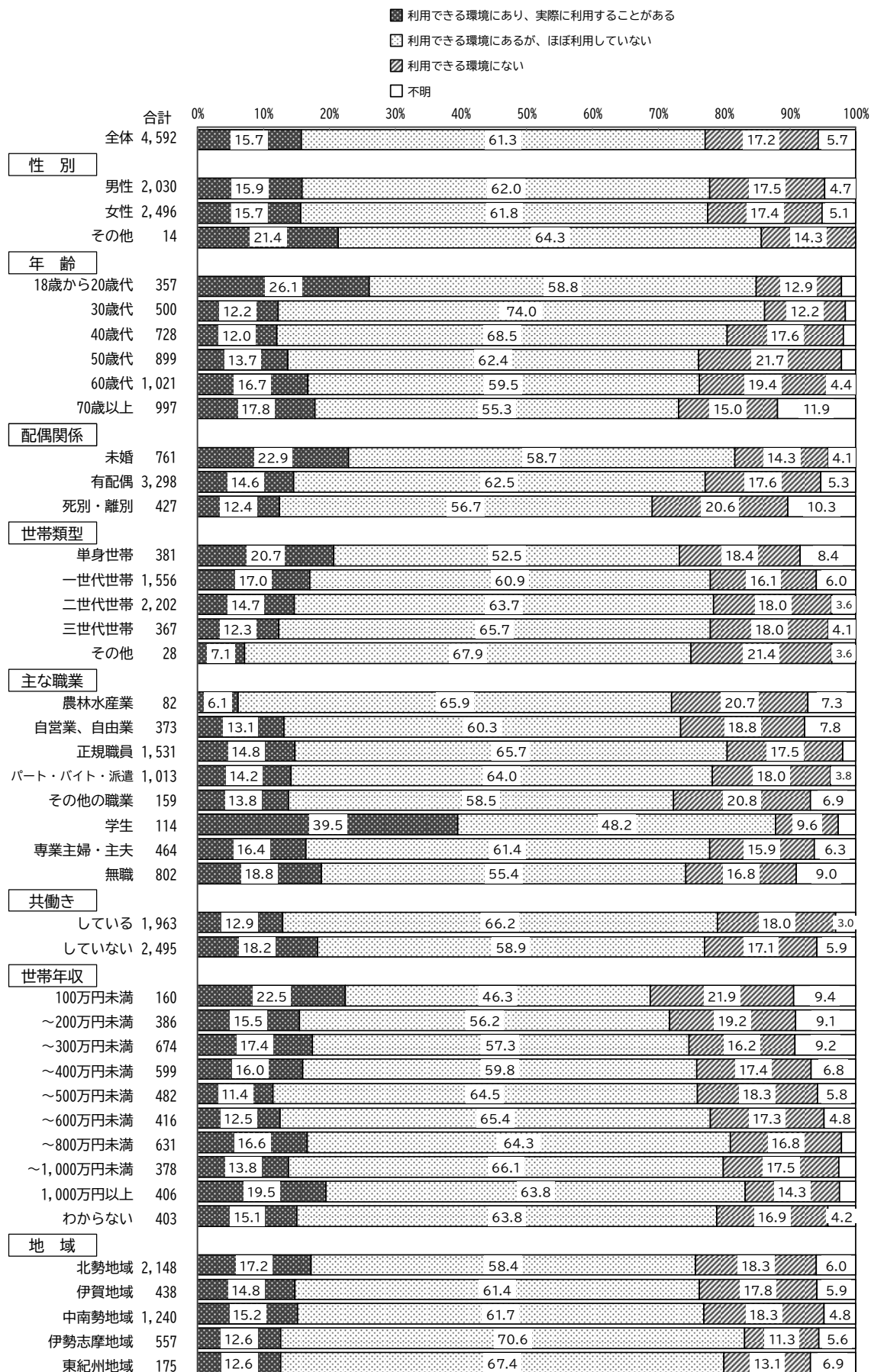
【年代別】

- すべての年代で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が高くなっています。また、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高いのは30歳代(74.0%)で、最も低いのは70歳以上(55.3%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高くなっています。また、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高い地域は伊勢志摩地域(70.6%)で、最も低い地域は北勢地域(58.4%)となっています。

図表 2-3-22 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】(属性別)



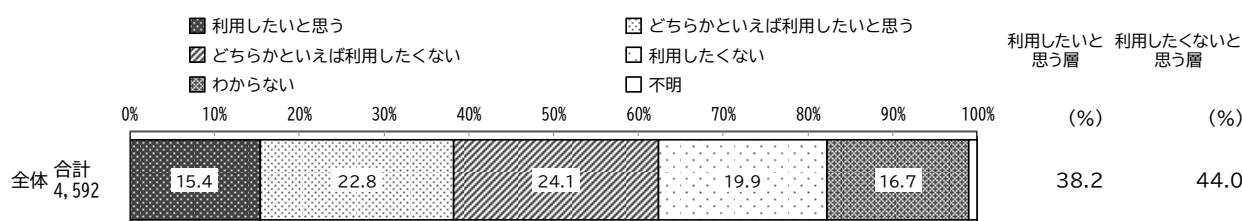
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

3.8 公共ライドシェアについて

問 15 あなたは、お住まいの市町が、タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを実施した場合、利用したいと思いますか。

- タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地まで送迎してくれるサービスを利用したいと思うかについて質問したところ、「利用したいと思う層」の割合が 38.2%で、「利用したいと思わない層」の割合（44.0%）より 5.8 ポイント低くなっています。

図表 2-3-23 公共ライドシェアサービスの利用意向



※「利用したいと思う層」の割合・・・「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「利用したいと思わない層」の割合・・・「利用したいと思わない」と「どちらかといえば利用したいと思わない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「利用したいと思わない層」の割合が高く、男女による差はほとんどみられません。男性では「利用したいと思う層」の割合（39.6%）が女性より 2.1 ポイント高くなっています。

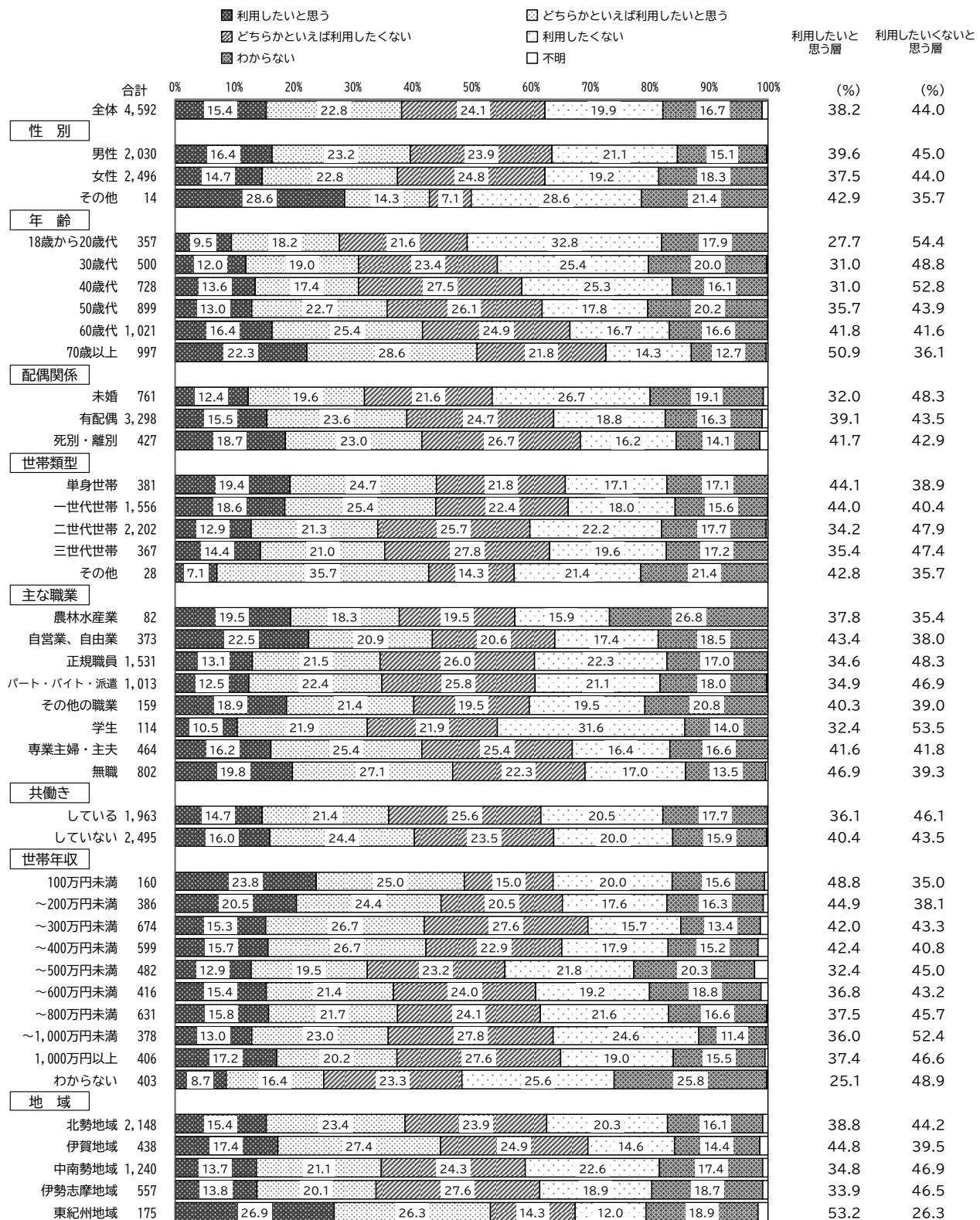
【年代別】

- 60 歳代以上で「利用したいと思う層」の割合が高く、70 歳以上（50.9%）で最も高くなっています。また、「利用したいと思わない層」の割合が最も高いのは 18 歳から 20 歳代（54.4%）で、次いで 40 歳代（52.8%）となっています。

【地域別】

- 伊賀地域、東紀州地域で「利用したいと思う層」の割合が高く、東紀州地域（53.2%）で最も高くなっています。また、「利用したいと思わない層」の割合が最も高いのは中南勢地域（46.9%）で、次いで伊勢志摩地域（46.5%）となっています。

図表 2-3-24 公共ライドシェアサービスの利用意向（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

